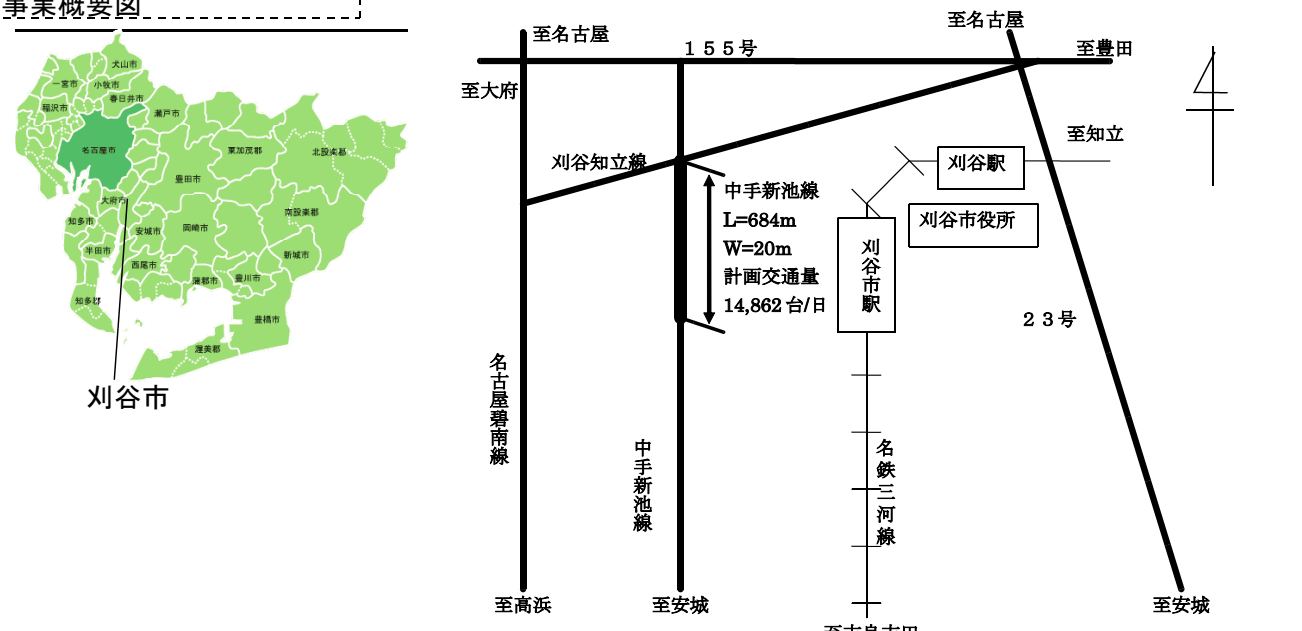


## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：中部整備局都市整備課  
担当課長名：筒井 祐治

事業名	3・4・15号中手新池線 <small>なかてしんいけ かりやしびろこうじ</small>	事業区分	街路
起終点	自：愛知県刈谷市広小路 至：愛知県刈谷市松坂町 <small>かりやしまつざかちよう</small>	事業主体	愛知県刈谷市
事業概要	都市計画道路3・4・15号中手新池線は、刈谷市の中心市街地と南部地区を結び、国道155号線から国道419号及び国道23号を経て、新幹線三河安城駅に至る主要な幹線道路であるほか、刈谷市の環状道路の一部を構成する重要な路線である。事業箇所は、延長約0.7kmの2車線道路である。		
S63年度事業化	S63年度都市計画決定 (H13年度変更)	H1年度用地着手	H9年度工事着手
全体事業費	30億円	事業進捗率	77.5%
計画交通量	14,862台/日	供用済延長	0.0km
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 2.4 (残事業) 20.1	総費用 (残事業)/ (事業全体) 4.2/36億円 (事業費：4.2/36億円 維持管理費：0.063/0.063億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 85/85億円 (走行時間短縮便益：84/84億円 走行費用減少便益：1.5/1.5億円 交通事故減少便益：-0.17/-0.17億円)
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保（新幹線三河安城駅へのアクセス向上が見込まれる）</li> <li>都市の再生（中心市街地内で行う事業である）</li> <li>国土・地域ネットワークの構築（刈谷市中心市街地へのアクセス向上が見込まれる）</li> </ul>		
関係する地方公共団体等の意見	都市計画道路中手新池線は、歩道が無く、商店街沿いにあり、自転車・歩行者にとって危険な状態にあり、地元商店街をはじめ、地域の住民より早期整備を望まれている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	国・県道の整備に伴って、当該地区における交通渋滞はますます深刻化している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地補償協議が難航し、工事着手までに長期間を要したが、現在までに0.2kmを工事完了している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成18年までに用地買収を終了し、全線にわたり工事を進めており、平成18年度に全線供用予定である。		
施設の構造や工法の変更等	新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材使用によるコスト縮減を図るとともに、「あいくる材」の積極的な活用により環境負荷の低減に努めている。		
対応方針	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。